

## こいけやクリエイト

調査団体名 : 株式会社こいけやクリエイト 団体代表者名 : 西村 新  
 設立年月 : 2011(平成23)年8月 対応してくれた人の名前 : 西村 新  
 団体URL : [www.koikeya-create.com](http://www.koikeya-create.com)  
 活動拠点 : 豊田市全域・根羽村 調査員 : 近藤 朗、眞柄明洋、高橋伸夫  
 取材日 : 2014年 11月25日 レポート作成者 : 高橋伸夫

## 活動内容

メンバーは6名。夫婦(デザイナー)+スタッフ3名(デザイナー)+母(「耕Life」の配達担当) [写真はカメラマンに委託]  
 各種印刷物のデザインや作成とホームページの企画・制作・運営などを生業としながら、フリーペーパー「耕Life」を  
 年に4回発行することで、皆さんに「農」「食」「暮らし」「環境」に目を向けてもらい、自分の人生を耕してもらいたい。  
 無理なく自分達のペースで活動することを心掛けており、取材活動の範囲も豊田市と根羽村程度に留めている。

## キャッチフレーズ

デザインで人と人をつなぐ。  
 (ちなみに西村代表の正装はツナギです)

## 会のモットー(何を大切にしているか)

人生を耕す・地産地消・地域で顔の見える関係性を築くこと

## 設立から現在に至るまで変化したこと

個人経営のデザイン会社として設立したが、人手が足りなくなって翌年法人化した。  
 「耕Life」は2012年10月に発行したが、当初予定の3,000部はすぐに無くなり増刷。現在の発行部数は11,000部(2014  
 年冬号)。日本タウン誌・フリーペーパー対象2014のライフスタイルコンテンツ部門最優秀賞、読者投票部門全国5位  
 受賞。

## 連携している団体・専門家・自治体など

アグロ・プエルタ(広報として立ち上げに参加)、千年委員会の山本シゲさん、株式会社M-easyの戸田さん、  
 一般社団法人物々交換局 など。

## 山村再生や、その担い手づくりに関わる具体的な活動(例:小仕事づくり、山村・森林資源活用など)

フリーペーパー「耕Life」の発行。  
 豊橋市のセミナーで農産物のデザインについて講演を行った。

## 現在直面している課題

「耕Life」の印刷・製本費用は広告・協賛・耕縁会(後援会)からの収入で賄えるが、人件費分は持ち出しである。ただ  
 「耕Life」の読者から仕事の依頼が入ることもあるので課題ではない。  
 人と人のつながりということを含め、現時点で大きな課題は無い。

## 今後やってみたいこと

- ・ お金が溜ったら、現在会社がある場所に人が集まるカフェを開店したい。
- ・ 他の地域で「耕Life」のようなフリーペーパーを発行したい人があれば支援したい。

## そのためにはどんな情報・人脈が必要か

新しい人脈や情報も必要だがとりあえずは現状の情報・人脈の中で活動したい。  
必要なものといえばカフェを作るお金？

## チームオリジナルの質問

<質問内容>地元で開業・活動されておられるが、豊田市以外の場所であったとしても順調にできたと思いますか？

<答え>他の地方のことについては考えたことがないので分からないが、豊田市は開業・活動する環境が整っていると思う。豊田市は巨大企業のお膝元で関連企業も多いが、当社に大きな企業の仕事はほとんど入らない。逆に大企業の仕事を扱う規模の大きな会社では採算が合わない仕事があるので、その部分で仕事を得られている。豊田市は我々のような活動には大変都合が良く、「耕Life」の配布置き場300箇所の中で250箇所が豊田市の店舗や施設であり、ありがたいと思っている。

## 写真

